

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	比較芸術学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（秋）
試験科目	専門知識
科目詳細	美術史学
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

【設問1】

本問は、美術史学の博士前期課程での研究に必要とされる基礎知識を問うものである。日本・東洋美術史および西洋美術史の各領域から4項目ずつ提示された8つの語句は、作品・人名・技法・概念・用語からなり、そのうち5つを選んで解説することが求められる。単なる語句説明にとどまらず、歴史的な文脈や同時代との関係、後世への影響をふまえた記述が期待される。選択の自由を設けているのは、受験生が自身の専門的関心を活かしつつ、複数の領域にわたる広い視野を有しているかを確認するためである。

【設問2】

本問では、美術史学の博士前期課程での研究に必要とされる、作品鑑賞経験にもとづく思考力と表現力を確認する。日本・東洋美術史および西洋美術史に関わる問いについて、4題のうち1題を選択し、論述する。いずれの設問も、具体的な作品や事例を根拠としながら自らの解釈や主張を展開することが求められる。受験生が自身の関心と問題意識を最も発揮できるテーマで論じることが期待される。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	比較芸術学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（春）
試験科目	専門知識
科目詳細	美術史学
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

【設問1】

本問は、美術史学の博士前期課程での研究に必要とされる基礎知識を問うものである。日本・東洋美術史および西洋美術史の各領域から4項目ずつ提示された8つの語句は、作品・人名・技法・概念・用語からなり、そのうち5つを選んで解説することが求められる。単なる語句説明にとどまらず、歴史的な文脈や同時代との関係、後世への影響をふまえた記述が期待される。選択の自由を設けているのは、受験生が自身の専門的関心を活かしつつ、複数の領域にわたる広い視野を有しているかを確認するためである。

【設問2】

本問では、美術史学の博士前期課程での研究に必要とされる、作品鑑賞経験にもとづく思考力と表現力を確認する。日本・東洋美術史および西洋美術史に関わる問いについて、4題のうち1題を選択し、論述する。いずれの設問も、具体的な作品や事例を根拠としながら自らの解釈や主張を展開することが求められる。受験生が自身の関心と問題意識を最も発揮できるテーマで論じることが期待される。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	比較芸術学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（秋）
試験科目	専門知識
科目詳細	音楽学
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ <u>具体的な出題意図</u> ・ 解答のポイント ・ 略解

問1

本問は、博士前期課程での音楽学研究の前提となる西洋音楽史全般についての基礎知識を問うものである。提示された8つの語句は、古代・中世から現代に至る音楽理論・ジャンル・作曲家名・作品名・楽器などからなり、そのうち5つを選んで解説することが求められる。単なる語句説明にとどまらず、歴史的な文脈や同時代との関係、後世への影響を踏まえた記述が期待される。

問2

本問は、音楽形式論・作曲家とその作品・宗教や社会と音楽との関係など、特定のテーマについて詳しく論じることを求めている。おおむね18世紀以前と以後とにわけて提示された2題から1題を選択し、論述する。受験者がみずからの研究テーマにより近い時代の音楽について、具体的な作品を引用しながら、広範な視野で十全かつ的確に歴史的経緯を論じる力量を備えているかを問うものである。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	比較芸術学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（春）
試験科目	専門知識
科目詳細	音楽学
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ <u>具体的な出題意図</u> ・ 解答のポイント ・ 略解

問1

本問は、博士前期課程での音楽学研究の前提となる西洋音楽史全般についての基礎知識を問うものである。提示された8つの語句は、古代・中世から現代に至る音楽理論・ジャンル・作曲家名・作品名・楽器などからなり、そのうち5つを選んで解説することが求められる。単なる語句説明にとどまらず、歴史的な文脈や同時代との関係、後世への影響を踏まえた記述が期待される。

問2

本問は、音楽形式論・作曲家とその作品・宗教や社会と音楽との関係など、特定のテーマについて詳しく論じることを求めている。おおむね18世紀以前と以後とにわけて提示された2題から1題を選択し、論述する。受験者がみずからの研究テーマにより近い時代の音楽について、具体的な作品を引用しながら、広範な視野で十全かつ的確に歴史的経緯を論じる力量を備えているかを問うものである。

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	文学
専攻	比較芸術学
課程	博士前期
入試種別	博士前期課程入試（春）
試験科目	専門知識
科目詳細	演劇映像学
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

問題I

本問は、演劇映像学の博士前期課程での研究に必要とされる基礎知識を問うものである。西洋演劇・日本演劇・映画の各領域から3項目ずつ提示された9つの語句は、作品・人名・概念・用語からなり、そのうち5つを選んで解説することが求められる。単なる語句説明にとどまらず、歴史的な文脈や同時代との関係、後世への影響を踏まえた記述が期待される。選択の自由を設けているのは、受験生が自身の専門的関心を活かしつつ、複数の領域にわたる広い視野を有しているかを確認するためである。

問題II

本問では、演劇映像学の博士前期課程での研究に必要とされる、作品鑑賞経験にもとづく思考力と表現力を確認する。演劇・映画に関わる問いについて、3題のうち1題を選択し、論述する。いずれの設問も、具体的な作品や事例を根拠としながら自らの解釈や主張を展開することが求められる。受験生が自身の関心と問題意識を最も発揮できるテーマで論じることが期待される。